

サウンドボックス
東京都千代田区平河町 2-7-9
全共連ビル B1F 〒102-0093

Tel: (03)3264-5321

Fax: (03)3230-2519

マルチコンバーター DU937 (EMT930、EMT927専用電源ユニット)

このたびは EMT930、EMT927専用電源ユニット、マルチコンバーター DU937をお求め頂きありがとうございます。この DU937は EMT930と EMT927を使用するにあたって、極めて静かなリスニング環境における静粛性、さらに音質の向上等の性能をさらに高めることを目的に開発された専用電源装置です。このユニークなマルチコンバーター DU937の性能を十分に発揮させ、また安全にご使用いただくためにこの取り扱い説明書をよくお読みになり末長くご使用下さい。

特長

1. バリ・スピード (速度調整)

本機は EMT930と EMT927用で初めて外部の装置により速度調整を可能にしました。マルチコンバーター DU937により速度を $\pm 10\%$ 調整が可能です。このことは標準速度でカッティングされていないレコードを再生する際には大変重要です。ある種の SP 盤は標準の 78 回転ではない盤があります。耳の良い方はそれが直ぐに分かってしまいます。そのような場合でも本機を使えば EMT930、EMT927 できちんと再生できます。

2. フェルト・ブレーキ不要

EMT930、EMT927 で正確な速度を得るためにフェルト・ブレーキを使用しているのはよく知られています。このフェルトブレーキは極めて静かなリスニング環境においては音楽再生を妨げるの連続ノイズを発生させているのも事実です。そこでマルチコンバーター DU937 では初めてそのフェルトブレーキを使用せず速度調整を可能にしました、結果としてこの摩擦ノイズを消すことに成功しました。

3. 50Hz と 60Hz いずれの電源環境下でも動作可能

マルチコンバーター DU937 の出力電源は 50 ないし 60Hz いずれかに内部のプリント基板上で設定できます。

4. マルチコンバーター DU937 の接続方法

マルチコンバーター DU937 は電源 (コンセント) とターンテーブルの間に接続して使用します。

5. その他

安定化された低歪み電源は EMT930、EMT927 の回転をスムーズに動作させるばかりでなく、イコライザアンプを最適に動作させ、総合的により良好な S/N 比が得られます。

ご使用にあたって

マルチコンバーターを使用する前に

1. 接続するターンテーブル本体の要求電源電圧と DU 9 3 7 の出力電圧が同じことを確認します。DU 9 3 7 はその背面のラベルにその電圧が表示されています。
2. 接続するターンテーブル本体の要求電源周波数と DU 9 3 7 の出力周波数が同じことを確認します。正しい出力周波数が選択されているかを確認します。DU 9 3 7 はその背面のラベルにその値が表示されています。出力周波数を変更した場合はその新たな値をペンでラベルの表示するようにします。

電源の接続

DU 9 3 7 ではスイッチング電源を採用しており入力電源は 1 0 0 V から 2 4 0 V まで、周波数は 5 0、6 0 H z いずれの電源も一切の設定変更なしに使用できます。

EMT 9 2 7、EMT 9 3 0 との接続

EMT 9 3 0、EMT 9 2 7 旧型のターンテーブルは 1 2 P のコネクタを使用しています。その場合は 3 P のコネクタを 1 2 P のマルチピンコネクタに変更します。

- 1a AC 電源
- 2a AC 電源
- 6a アース

一般的な 3 ピン仕様の I E C 3 P ソケットの場合は DU 9 3 7 の背面コンセントにそのまま接続します。

電源を投入すると LED が点灯します。これで EMT 9 2 7、EMT 9 3 0 ターンテーブルを使用できます。

セレクターについて

セレクターでの3つのポジションについて説明します。

- ・ **フィックス** この位置では出力電源の周波数が内部の周波数設定で設定された (5 0 H z か 6 0 H z a) いずれかの周波数に固定されます。設定されている周波数は本機の背面に表示されています。このフィックスでは正確な回転数は従来どおり E M T 本体のフェルトブレーキによって調整する必要があります。ターンテーブルに乗せたストロボ・ディスクで回転を調整します。また本体のネオン・ランプでも速度調整が可能です。
- ・ **バリスピード** この位置では電源周波数を $\pm 10\%$ 調整でき E M T 9 2 7 や E M T 9 3 0 の回転速度を調整することができます。このポジションでは本体のフェルト・ブレーキを使用しますがご使用にあたっては本体のフェルトブレーキは完全に緩めておいて、本機のバリスピード・ボリュームで速度調整をすることをおすすめします。それによりフェルトブレーキの摩擦音を低減できます。回転はターンテーブルに乗せたストロボ・ディスクで回転を調整します。また本体のネオン・ランプにより速度調整できませんのでご注意ください。
- ・ **フェルトブレーキ無し** この位置では正確な回転調整に必ず必要で、ノイズ発生の原因となるフェルト・ブレーキを電氣的なもの置き換えています。したがってフェルトを擦るノイズを発生しません。本体のターンテーブルの下にあるフェルトブレーキのプレートをはずすか、あるいは完全に緩めてターンテーブルに接触しないようにしてください。接触しているとフェルトブレーキが擦れる音がでます。ターンテーブルに乗せたストロボ・ディスクで D U 9 3 7 の前面のバリスピード調整ツマミの右下にある「adjust with strobodics」の小さなボリュームを精密ドライバー等でストロボ・ディスクを見ながら速度調整します。まずストロボディスクの33回転で調整をします。ボリュームを廻してストロボが止まって見えるように調整します。ストロボが速く流れる場合時計回りに、ストロボが遅く流れる場合反時計回りに調整します。一秒で1ポイント(ストロボのドット)はスピード調整では10%、また十秒で1ポイント(ストロボのドット)は1%の速度偏差です。本体のネオン・ランプによる速度調整できません。また、このポジションではバリスピードコントロールは動作しませんのでご注意ください。

変換信号表示ランプ

このLEDはマルチコンバーターが出力されていることを示します。

注) 電子ヒューズが過負荷により動作するとLEDは点滅します。

本体ストロボランプについての注意

本体組み込みのストロボ・ランプはマルチコンバーターから供給される周波数になります。つまり、このランプでは、**パリスピード、フェルトブレーキ無し**をセクターで選んだ場合、本体のストロボランプでは速度調整できない理由です。このような混乱を避けるため、本体のストロボランプをはずしておくのが良いでしょう。速度調整には別途ストロボ・ディスクを使用してください。その際、インバーター式蛍光灯のもとではこのストロボ・ディスクが使用できないことにも注意してください。

一般注意事項

1. マルチコンバーターは60VA(60W)を超える負荷がかかる、あるいはショートさせると電源が遮断されるように設計されています。その際、変換信号LEDが点滅します。
2. マルチコンバーターの電源を入れると僅かに機械的なノイズが聞こえます。これは内部のアンプとスイッチング電源から発生するもので異常ではありません。
3. 出力電源の電圧と周波数は予めご使用になるEMTターンテーブルが要求する電源に合わせて調整してあります。マルチコンバーターの出力電圧の変更が必要になったとき、またマルチコンバーターの出力周波数の変更が必要になったときは本体内部の設定変更と調整が必要になります。お求めの販売店にご相談ください。ご自身での作業は危険であるばかりでなく、故障の原因になることがあります。

SOUND BOX

マルチコンバーターによる速度調整

	Vali Speed	Fix	Without Felet Breake
ストロボディスクによる速度調整			
プレーヤのストロボランプ使用による速度調整	×		×
プレーヤのフェルトディスクブレーキによる速度調整			×
マルチコンバーターによる速度調整		×	注1.

注) 1. Without Felt Breake の速度調整は前面のバリスピード調整ツマミの右下にある「adjust with strobodics」の小さなボリュームで行います。

<テクニカル・データ>

入力電圧： 100 - 230V (設定変更は必要ありません)
入力電源周波数： 50 - 60Hz (設定変更の必要はありません)
出力電圧設定： 100 - 230Vの間で調整可能です(内部基盤上にて調整します)
出力電源周波数： 50Hzないし60Hz (内部基盤上にて設定変更します)
周波数調整範囲： ±10%
寸法： 36×10×37cm
重量： 8kg

輸入発売元 **サウンドボックス**

東京都千代田区平河町2-7-9 全共連ビル 〒102-0093